

信仰と伝説

一つ目小僧伝説



に彩られた山里を歩く

コースあんない ふれあい館前駐車場～沓沢道祖神～ふれあい館前駐車場 距離6.34km／移動時間127分

① ふれあい館前駐車場 → 1 km 徒歩20分 ② 言安堰堤 → 0.16 km 徒歩3分 ③ 大宝寺・名取将監の墓 → 0.25 km 徒歩5分 ④ 諏訪神社 → 0.13 km 徒歩3分 ⑤ 妙定寺 → 0.75 km 徒歩16分 ⑥ 滝戸千段の滝 → 0.15 km 徒歩3分 ⑦ 滝戸の滝 → 1.11 km 徒歩24分 ⑧ 大曾利道祖神 → 0.68 km 徒歩12分 ⑨ 不動明王石祠 → 0.12 km 徒歩3分 ⑩ 小曾利道祖神 → 0.1 km 徒歩1分 ⑪ 六地蔵 → 0.51 km 徒歩10分 ⑫ 伊豆神社跡・虎御前の鏡立て石 → 0.55 km 徒歩12分 ⑬ 新倉橋 → 0.83 km 徒歩15分 ⑭ ふれあい館前駐車場

天狗伝説

夜叉神伝説

孝謙天皇と白鳳庵伝説

白根御池の龍神

金山沢

芦安窓口サービスセンター

西河原

古屋敷

光明寺京敬和尚の神通力

小曾利

不動明王石祠

六地蔵

光明寺

木曾の樵中村儀助

舟乗地蔵伝説

新倉

国母地蔵伝説

石塔

曾我物語虎御前伝説

2 あしやすえんてい 芦安堰堤 国登録有形文化財

大正5(1916)～15年に内務省直轄砂防事業として御勅使川上流の芦倉に設置された砂防堰堤。最初は重力式と呼ばれる方法で造られたが、大正7年完成直後の大暴雨によって土砂で埋ったため、その上にアーチ式の砂防堰堤が造られた。日本で初めてコンクリートを使用して造られた本格的な堰堤で、国の登録有形文化財となっている。

使用されたセメントは東京から竜王駅までは中央線、竜王駅から源までは馬車、源から堰堤までは馬で運ばれた。

11 こうみょうじ 光明寺

曹洞宗の寺院。江戸城修理の木材を野呂川流域から伐り出すことを請け負い、その途中に命を落としたと伝えられる木曾大瀧村の庄屋、中村儀助の墓が境内にある。

12 いすじんやあと 伊豆神社跡

曾我兄弟と同族であった伊東氏の子孫が伊豆権現を勧請したと伝えられ、ほかに曾我十郎と、虎御前が祭られたことから、三社神社とも呼ばれていた。大正時代に社殿が倒壊したため、御神体は諏訪神社に移され祭られている。

3 たいほうじ 大宝寺・名取将監の墓

寺記によれば、奈良時代に華厳宗の寺院として開山されたがその後荒廃し、16世紀の初めに悦堂和尚が曹洞宗寺院として再興した。境内には武田信虎に仕えたと伝えられる武将、名取将監の墓がある。

名取将監は信虎の横暴な振る舞いを諫めたことから疎まれ、親類を頼りに芦倉に住んだといわれ、大曾利に多賀明神や天神、牛頭天王を勧請し、村人に学問を教えた芦安集落の英雄として伝えられてきた。大曾利の殿屋敷は将監の屋敷跡と伝えられる。夜叉神峠の西観音渓谷は将監が大鹿を追って道に迷った際に、観音経を唱えて一晩を無事過ごしたことに由来する。

4 すわいんじや 諏訪神社 大日如来坐像、白鳳庵の墓

祭神は武勇・狩猟の神である建御名方命。伊豆神社に祭られていた曾我十郎祐成、虎御前と伝えられる木像も大正時代に合祀され、安置されている。境内にある2基の宝篋印塔は、奈良時代に孝謙天皇が奈良田へ湯治に訪れたという伝説の中で、天皇を案内した大宝寺の僧白鳳庵と彼の家臣笠磨利の墓と伝えられている。

本殿内には厨子入りの大日如来坐像(市指定文化財)も納められている。大日如来坐像は本来鏡に付けられていた御正体の一部で、鎌倉時代の作。山岳信仰で用いられた鏡と考えられている。

6 くつかわやまのかみ おおつが 滝戸山の神・大梅

山への入口に立つ楓の巨木で市指定天然記念物。根元には4基の石祠が置かれている。年代は不詳だが、戦国時代に名取将監がこの山の神に狩りの成功を祈つたという伝承がある。

9 ふどうみょうおうせきし 不動明王石祠

小曾利公会堂裏に不動明王を祭った石祠がある。かつて寺の辺に祭られていたが、昭和34年の台風で流されてしまったため、昭和36年6月6日、現在の地に新たに建立された。無病息災や厄除けに靈験があるといわれている。

1 ふれあい館前駐車場

2 金山沢温泉

3 乗合タクシー発着所

4 集落・平坦地

5 川

6 山地

7 インフォメーション

8 石祠

9 道祖神

10 お地蔵さま

11 御正体

12 宝篋印塔(白鳳庵と笠磨利の墓)

450m先